

諫早市教育委員会議事録
令和 5 年第 6 回（5 月定例）

令和 5 年第 6 回（5 月定例）教育委員会

- 1 日 時 令和 5 年 5 月 3 1 日（水）
1 5 時 3 0 分～1 6 時 2 0 分
- 2 場 所 諫早市役所 8 階 会議室 8－2
- 3 出席者 教育長 石部 邦昭
委 員 原田 裕介
委 員 山口 秀雄
委 員 中野 高子
委 員 小野 靖彦
- 4 会議に出席した事務職員
教育次長 田島 正孝
教育総務課長 江頭 大一
学校教育課長 田上 顕二
生涯学習課長 竹島 健吾
- 5 議題
議案第 1 2 号 全国学力・学習状況調査結果の取扱いについて

議事録署名人の指名

原田委員と山口委員を議事録署名人に指名

議事録の承認

令和5年第5回（4月定例）教育委員会の議事録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長の報告の要旨

《教育長の報告》

今回は6項目について報告する。まず、運動会、体育大会の件について。復活の喜びということで、小学校20校、中学校全14校が予定通り実施された。小学校の運動会は5月21日と28日の日曜日の両日に、全28校のうち20校が今回実施された。残りの8校は秋の運動会ということになる。中学校の体育大会は、14日の日曜日に全14校で行われた。

復活としているのは、今年、5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたので、4年ぶりに保護者や地域の皆さんの入場制限なしに行ったからである。4年前では当たり前だった光景が久しぶりに繰り広げられ、天候にも恵まれて子供たちの躍動や惜しみない声援がある運動会が実施できた。これまでいろいろな制限があつての運動会であつたが、そのような復活の喜びがあつたということである。

2番目、広報諫早6月号は学校最前線、小学校の現状紹介となっている。委員の皆様ももうご覧になったかと思うが、広報諫早6月号は学校特集で写真も掲載していただいた。記事の内容は、GIGAスクール構想1人1台のタブレット端末や大型提示装置モニターを使ったICT教育などである。今回、こういう記事をなぜ載せた

かということ、保護者の方々は大体分かっていると思うが、子供が卒業してしまっている方々やお孫さんが学校に通っている方々にも、学校でどんなことを習っているのかとか、どのような環境で学んでいるのかということを知っていただきたいと思い特集を組ませてもらった。

特集記事では、他にも全ての小・中学校に自動水栓を取り付けているので、手をかざしたら水が出るようになっているということや、エアコンが教室、職員室等に設置されていること、そして、体育館の耐震化、照明のLED化、トイレの洋式化のことなどを紹介している。トイレの洋式化は一度に全てするというのではなく、年次ごとに決めて、令和7年度に全ての学校の洋式化が完了する予定で進めている。

また、諫早産を中心とした給食ということで、給食もできるだけ諫早産を使い、美味しい給食を提供していくことを心がけているところである。それから、小学校からの英語教育では、ALT（外国語指導助手）が現在9人いる。この夏に1人増えて10人になる予定であり、今までで一番多い人数になるということで、これは大きいことである。学習サポーターの配置については、学習の手助けをしていただく先生方を配置している。

学校給食費については、ご承知のように物価高騰で食材が非常に値上がりしている。支援がないとどうなるのかということ、給食の質を落とすか、若しくは量を減らすかどちらかになっていくのだが、子供たちにとって学校給食は楽しみであるし大切でもあるので、市で値上げ分を支援し保護者に負担がかからないようにしている。

もちろん、学校には変わらないものもある。例えば、しっかり書いたり、調べたり、考えたりすることは学習の基本で、変わらずいつの時代も一緒である。今、デジタル教科書がありタブレットも持っているが、書くことの大事さもある。ノートに書いて覚えたり、計算したりということも大事なことで、そういうところは変わっていない。

それから、掃除はきちんと行い、整理整頓もする。また、挨拶についても、私はいろいろな地域を回ったが、諫早の子供たちは非常によくできていると思う。長崎県で一番挨拶ができる街にしたいと思うので、挨拶の大切さを常日頃から学校でも指導しているところである。

記事の最後には、私からのコメントとして「子供たちの可能性を最大限に伸ばすために」ということで、学校、保護者、地域の方々との連携や協働、つまり、今学校だけで教育が完結しないように

っており、保護者の協力や地域の方々の協力なくして学校教育はなかなか難しい時代に入っているので、そういう方々のご援助をいただきながらみんなで子供たちを育てていきたい。また、知・徳・体の調和のとれた教育、そして誰一人取りこぼさない教育、全員がその学年で学ぶべきことを習得して、人間関係も含めて学力充実や学校改革、教育環境作りなどに取り組んでいくので、教育のまち諫早にご期待ください、ということで私の言葉を締めている。

3 番目、第 7 3 回全国都市教育長協議会帯広大会について。北海道の帯広市で全国の都市教育長会議が開かれた。5 月 1 8 日から 1 9 日、テーマは「生きる力を育む教育のあり方」で私が出席してきた。ここでも誰 1 人取り残すことのない個別最適協働的な学びの実現ということで、今全国的に話題になっているようなことを様々な角度から取り上げた講演や文科省の指導、研究発表があった。

例えば、I C Tを活用した教育や外国語教育、プログラミング教育、学校・地域・保護者の連携協働の推進、貧困家庭への支援策、部活動の地域移行などである。そして、義務教育充実のための予算措置として、定数改善や教員確保のための処遇改善などについて、国への要望事項として決議し大会は終了した。

この大会は毎年開かれている。今回は帯広で 2 日間開催されたが、約 5 0 0 人が参加していた。来年度は、長崎市で開催される予定になっている。そのための視察も兼ねて長崎県の各市町教育長は参加した。来年度、全国の教育長を長崎市に迎えて、様々な教育の課題について、改善や取り組み等を話し合うことになっている。

4 番目、長崎県市町村教育委員会連絡協議会総会および合同研修会が、5 月 2 9 日月曜日、アルカス佐世保で行われた。会には私だけではなく教育委員の皆様にも全員出席していただいた。総会では報告事項や審議事項などがあったが、表彰伝達ということで、宮本峻光前教育委員も長年の功労ということで表彰を受けられた。

その後、教育委員と教育長が分かれてそれぞれ合同研修会があり、教育委員が参加されたところでは、コミュニティスクールや不登校児童生徒、クラブ活動の地域移行などについて話し合われた。教育長会議については、教員の魅力アップ、働きがい改革、教員のなり手不足の解消などについて、県教委から提案が行われた。

どういう提案があったかということ、今、教員はブラック勤務と言われるように非常に忙しいため、それがなり手不足に繋がっているのではないかとということであった。そこで「夏休み充電宣言」として、今まで夏休みはお盆休み以外ずっと勤務をしていたけれども、夏休みの間に教員としての資質を深めてもらおうということである。

自分がやりたいことを申請して、認められればということになるが、例えば、民間の講座や県民大学に参加したり、美術館、博物館などを見たりして勉強するというようなこと、それから、ふるさと教育という観点から、自分が勤めている地域、ふるさとの勉強をしたり、祭りの話を聞いたり、伝統芸能を勉強したりといったような普段忙しくてなかなかできないようなことをしてみてもどうかという提案がなされ、できるだけそういう機会を持とうといったようなことである。この後詰めていくということなので、今年の夏から実施されるのではないかなと思う。

もう一つは、教員採用試験の話である。教員採用試験は、現在、一次試験が7月上旬ぐらいにあり、二次試験が8月下旬ぐらいにあって合格発表が10月ぐらいになる。ところが、民間企業は6月ぐらいに決まってしまう。そうすると教員は遅くにしか決まらないため、早く決めたいということがあるということで、今までの7月ではなく6月に全国一斉に教員試験を行う。また、今までは各県で試験問題を作っていたが、試験問題も全国一律にということである。前倒しをして、できるだけ教員志望者を1人でも多く採用できるようにと考えられてのことであった。教育長会議の中では、県教育庁からそういう話がされた。

5番目、諫早市総合防災訓練が4年ぶりに通常規模で実施された。5月21日に本明川河川敷で36組織、約千人が参加しての大雨や地震等に備えた総合防災訓練で、国、自衛隊、警察、消防、ガス、電気、医療、それから民間の方々のいろいろなボランティア団体等が参加していた。ヘリコプターでの救助や火災を想定した消火訓練、緊急措置連携、応急措置など有事の際を想定しての訓練があった。私も参加して、教育委員会としても学校を抱えているので、改めて子供たちの安心安全も含めて、公民館や図書館などの施設での点検、報告、そして、働く人たちの防災意識を高めていく必要性を感じたところである。

最後に、私、教育長の再任ということで、5月12日に議会の皆さんの承認を得て、再任をさせていただいた。ここから3年間、私の全てをかけて一生懸命頑張っていきたいと思っている。

この2年間、様々なことを研究してきた。教育委員会のスタッフも揃っているのも、いろいろな人たちの知恵をお借りしながら、準備をしてきている。学校改革を始めとして、ここからその研究成果を生かしていきたいと思っているところである。特に、学校改革においては、新聞でご覧になったと思うが、佐世保市や島原市あたりは全体像を出しており、島原市は15校を5校にするというような

青写真を出したが、諫早市ではそれはしない。ただし、研究はしてきている。全ての学校のことを考えながら、研究しているけれども、やはり住民の方たちと話を詰めていき、皆さんの同意を得ながらするということが、私達は一番いい方法だと思っている。局地的になっていくかと思うが、じっくりと話し合いをしながら、そして、同意を得ながら青写真を提示していきたいと考えているところである。決まったらスピード感を持ってやりたい。

私の報告は以上である。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

長崎県市町村教育委員会合同研修会のことに関してであるが、私は部活動の地域移行の研修会に参加した。そこで感じたことなのだけれども、まず一つ目が、他市の教育委員さんたちが、自分の市の部活動移行の現状について、この競技はこういうふうになっているということを結構細かにご存知であったので、私自身勉強不足だったなと感じた。今後、ご教示いただければということが1点である。

2点目になるが、こちらは長崎市の教育委員さんから出された考えで、県は部活動の地域移行というのは地域で育む子供の未来というサブテーマでしていると思うけれども、それをテーマに持つてくるのであれば、部活動の地域移行という考え方は、どうなのだろうかということであった。つまり、部活動を地域移行という考え方にすると、いつまで学校側が関わって、いつまで教育委員会に関わってもらって、どこがイニシアティブをとっていくのかということが中々難しいところがあるのではないかとということであった。

その具体的な例として、長崎市では幼少期からの地域のラグビースクールが4つあるそうで、ラグビーに興味がある子供たちはそこに所属をして、そこで育った子供たちが成人になって、そこでラグビーの指導をしたいということで戻ってきて、というような良い循環が行われているそうである。そして、そこでかかるお金というのも、多分ということであったが、協会が負担をしているのではないかとということで、各競技の協会が主体になって進めていくという方法も1つあるのではないかとという提案があった。だから、諫早市でも柔軟な考え方を取り入れて、諫早市の子供たちに一番プラスになるような地域移行の形というのを模索していけたらと思ったところであった。

[学校教育課長]

長崎市のラグビースクールは、昔から盛んで有名な選手も育って

いる。それがどういうふうに運営されているのかというのを我々も情報を入手して、これから諫早市の部活動の地域移行に生かしていきたいと思う。

他の市町の委員が状況をよくご存知だということについては、これからも細かな情報について教育委員会等を通じて、お伝えしていきたいと思う。

[委員]

今、小学生もクラブチームにたくさんの子が入っているが、練習時間が結構遅くから、午後7時とか7時半頃から練習が始まって、8時半とか9時ぐらいに終わっている。小学生がその時間まで練習して、家に帰って寝るとなると10時を超えてしまう。普通に考えると、子供は今学校が早いのでおそらく6時半ぐらいに起きないと学校にちゃんと行けない。だから、10時に寝たとしても8時間半しか寝られないということになるが、小学生で推奨されている睡眠時間は9時間以上だと思う。日本は赤ちゃんから大人まで全部の年代で一番短い睡眠時間であるから、その常識の中でいうと8時間寝られればいいという話になっていると思うが、そこが問題ではないかと思う。

毎日の生活リズムは、子供は一定であるべきである。それが、ある日は遅くまでというのも問題だし、大人の指導者の都合で遅い時間から始まって遅い時間までしているということ自体かなり問題だと思っており、スポーツをするとすれば、クラブチームがそうなっているから仕方がないということなのだろうけれども、子供の健全な育成ということに関して言うといかがなものかと常々思っている。これは、教育委員会では何ともできないところがあるが、クラブの地域移行というところになっていくと、おそらくそこも含めて放課後4時から部活を始めて6時までには終わって、家に帰ってという生活パターンが崩れてしまい、もっと遅い時間から始めてということになるという点も、小児科医としては非常に問題だなと思う。

[学校教育課長]

子供たちの健全育成ということについては、学校教育課の担当との会議でも話題になっており、生活サイクルが乱れてしまうということもあるし、若しくは、厳しい指導があることで心身が疲れてしまうと不安定になる子供が出てくるかもしれない。それと、クラブチームになるので、その運営にかかる費用も関わってくる。その点で、子供たちの健全育成ということを念頭に置いて、今のところ市教委なのかどこの部署になるのかは分からないが、イニシアティブというか、こういうことは守ってもらいたいということを知らせる機関

が必要であると考えており、今後検討していきたい。

[委員]

教育委員会合同研修会に参加して、部活動の関係になるが、今年から中総体でクラブチームが参加することになり、県の中で８５のクラブチームが登録をしたそうであるが、まず一点、諫早市ではどれぐらいのクラブチームの登録があったのか。

また、間もなく中総体で県大会まではもう少しあるかもしれないが、部活動は教育の一環であるとは私は考えているので、クラブチームとのしっかりとした話し合いがこの短期間でできるのかという心配があるがその辺はどうか。

[学校教育課長]

県では８５クラブということだが、諫早市のクラブについてはまだ情報が入っていない。例えば、大村にあって諫早と大村の子が集まるクラブがあったり、長崎にあって諫早の子も行くというクラブもあったりするので、そういうように市とか町をまたいだチームもできるので、諫早市の中総体、中体連との繋がりを検討していくことになるかと思う。

[委員]

先ほどの指導者の都合で練習時間が遅くなってしまうことについて、研修の時に県教委に尋ねたが、もちろん県教委もそれは承知の上で解決策は今のところないというような感じであった。

問題は指導員がどのぐらいいて、指導者の登録をどれだけ周知できるのかということがこれから問題になってくるところで、島原市の教育委員さんがサッカーの競技の方だったけれども、サッカーの場合は指導者というのは必ず資格がいるということである。競技によっては資格がないと指導者として認められないということもあるということになってくると、今年度からあと数年で移行するといった中で、かなり大急ぎで指導者の確保に走り回らないといけないところが出てくるのではないかと思うが、現状はいかがなものなのか。

[学校教育課長]

クラブチームの指導者についてであるが、どのような指導者の候補の方がいるのか、潜在的にいるのかということは、県の体育保健課が調査をするということなので、これについては、諫早市に実際にはどういう方がいるのかということのも、情報をいただくことになるので、それを確認したいと思う。

それと、資格についてはそれぞれの競技団体、サッカー、バレー、野球などの協会がそれぞれ求めているものがあると思うし、柔道や

剣道についても同じようなことが言えるかもしれないので、各協会がどのようなことを求めているのかについても、調べていきたいと思っている。

[委員]

スポーツ関係もあるが、文化関係も非常に難しい問題を抱えていると思う。場所、機材、もちろん指導者もというところでいくと、一番大きな問題であるのが吹奏楽部であるけれども、例えば、美術部やコーラス部など、そういったものを果たしてどのように民間移行ができるのか。将来的に、平日の部活動もなくなるということを踏まえた上で、非常に難しい問題が出てくるとは思うが、その指導者の確保というのが大変なことだと思う。是非、頑張ってください。

[教育長]

今、言われたようなことは、教育長会議あたりでもいろいろと情報交換をしている。諫早市が地域移行に遅れているというわけではない。他の市町と大体同じ歩調で進んでいるのかなという感じである。

やはり様々な問題が出てきている。指導者の費用負担、子供たちがいくら払えばいいのかとかそういうこともあるので、いろいろな角度から検討をしながら、少しずつ進んでいる。ただし、一番懸念されるのは、今まで学校教育の中に部活動はあったが、これを全部取り払ってしまうというのは如何なものなのかということがあって、教育の一環という要素を指導者の方々にも理解してもらうことも必要である。

それから、指導していただくには今言われているように、体罰であるとか、行き過ぎた指導とかがないように、指導者の方々にも講習を受けていただいたり、勉強していただいたりする必要があるのかなというふうに思っている。

諫早市は、おかげさまでいろいろな競技の指導者がたくさんいるということを我々は掘んでいるので、そういう方々と今から詰めていきたい。もちろん学校でもどのようにしていくかということは、校長会や中体連とも詰めていかなければいけない。

[委員]

エアコンがコロナの前に設置されて3年ぐらい経ったところである。家庭でもそうだと思うが、エアコンを使っているとカビの問題が出てくる。フィルターは掃除されると思うけれども、機材のクリーニングは考えているのか。

それと、英語教育についてだが、また久しぶりに諫早とアセンズ

が交流するという記事を見た。アセンズと教育の上で英語の交流などは考えていないのか。

[教育総務課長]

学校のエアコンの外部へのクリーニング発注について、シーズン前にフィルターの清掃は各学校で対応してもらっているが、今のところ業者への清掃の発注は行っていない。

[学校教育課長]

コロナで外に出て行ったりとか、交流したりということも控えていたと思うので、今後情報があれば検討したい。

《議題》

議案第12号 全国学力・学習状況調査結果の取扱いについて

学校教育課長 説明

質問・意見なし

原案可決

《教育総務課長の報告》

新型コロナウイルス感染症への職員の対応について

《教育総務課長の報告に対する質問・意見》

質問・意見なし

《学校教育課長の報告》

5類感染症への移行後の学校における新型コロナウイルス感染症対策について

《学校教育課長の報告に対する質問・意見》

質問・意見なし

《生涯学習課長の報告》

令和5年度『少年の主張』諫早市大会の開催について

《生涯学習課長の報告に対する質問・意見》
質問・意見なし

その他

教育総務課長

6月定例教育委員会の日程について説明

16時20分閉会